

カロム倶楽部 第38号

2007/2/4 発行:日本カロム協会 広報渉外部会

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3F TEL(0749)22-7522/FAX(0749)22-9018

http://www.biwako.ne.jp/~carom E-mail carom@pop.biwako.ne.jp

お待ちかね！レーティング・ポイント・ランキング発表

門野裕氏、奥居聡氏を引き離す。角田克氏、T戦優勝で背後に迫る！

秦氏、純也氏・克司氏に勝利。國武氏、ポイント伸ばし、念願のTOP10入り！

T戦準優勝は克司氏。門野大河氏、門野隆氏・勉氏、秦氏に勝利で64ptアップ！門野文哉氏も、隆氏、勉氏に勝利！

門野隆氏、3敗(3勝)、門野勉氏、6敗(4勝)で、ともにTOP10圏外へ。魔術師井戸氏、門野裕司氏に久々勝利も後が続かず、TOP10は遠し。

第38回順位	第38回レーティング	氏名	第37回順位	第37回レーティング	第36回	第35回
1	1,473	門野裕司	1	1452	1	1
2	1,412	奥居聡	2	1413	2	2
3	1,353	角田克司	4	1340	9	7
4	1,315	伊藤明雄	5	1315	5	5
5	1,304	山崎匠	6	1304	3	3
6	1,298	門野純也	3	1358	4	4
7	1,296	鈴木智也	7	1296	6	6
8	1,247	秦 滋	11	1216	11	23
9	1,232	國武博之	13	1197		
10	1,222	角田浩司	10	1222	8	8

平成18年のフィナーレを飾る定例競技会。上位陣では、角田克司氏がT戦を制し、門野裕司氏・奥居聡氏の二強に続く。門野純也氏はT戦準優勝も、その後勝ち星に恵まれず、60ptダウンでスランプに陥ったか！？相変わらず絶好調をキープし続けるのが國武氏。念願のTOP10入りを果たした。京都カロムから初参加の山本有里氏は、2連敗で初勝利は次回持ち越しとなった。前回T戦準優勝の門野隆氏が、今回は絶不調。シンクロしたのか門野勉氏も大きく負け越し、ともにトップ10圏外へ。

第38回順位	第38回レーティング	氏名	第37回順位	第37回レーティング	第36回	第35回	第38回順位	第38回レーティング	氏名	第37回順位	第37回レーティング	第36回	第35回
11	1,207	門野隆	9	1,229	13	15	31	1,084	森下博	32	1,084	31	31
12	1,198	柴田宜秀	12	1,198	12	13	32	1,077	岡村博之	33	1,077	32	32
13	1,188	奥居美加	14	1,179	15	14	32	1,077	北川豊	33	1,077	32	32
14	1,174	井戸真也	17	1,149	10	10	34	1,074	古川弘樹	28	1,104	34	30
15	1,171	門野悟	15	1,171	16	16	35	1,063	門野大河	63	999	62	62
16	1,170	門野勉	8	1,265	6	7	36	1,061	筒井一男	36	1,061	35	34
17	1,161	小水元	16	1,161	18	17	37	1,060	赤井康彦	37	1,060	37	35
18	1,146	疋田真奈人	18	1,146	19	18	38	1,054	奥居由紀	38	1,054	38	37
18	1,146	高橋靖	18	1,146	19	18	38	1,054	竹腰裕紀	38	1,054	38	37
20	1,144	疋田敏	20	1,144	21	20	40	1,047	安田佳代子	40	1,047	40	40
21	1,143	小川睦博	21	1,143	22	21	41	1,043	馬淵克一	41	1,043	41	41
22	1,138	田島一成	22	1,138	23	22	41	1,043	梶塚浩貴	41	1,043	41	41
23	1,134	辻克治	23	1,134	24	23	43	1,042	門野等	35	1,073	14	12
24	1,126	芝田清	24	1,126	25	24	44	1,041	大須賀貴幸	43	1,041	43	65
25	1,119	高橋滋	25	1,119	26	25	45	1,040	大橋文子	44	1,040	44	43
26	1,116	八田猛	26	1,116	27	26	46	1,035	古川正夫	45	1,035	45	44
27	1,106	久木寛	27	1,106	28	27	47	1,034	疋田なつき	46	1,034	46	45
28	1,102	若林良仁	29	1,102	29	28	48	1,031	田中久由	47	1,031	47	46
29	1,100	梶塚浩三	30	1,100	30	29	49	1,024	中川一志郎	48	1,024	48	47
30	1,094	古川慎次	31	1,093	11	39	50	1,020	川合四郎	49	1,020	49	48

第38回 順位	第38回レ ー ティ ン グ	氏 名	第37回 順位	第37回レ ー ティ ン グ	第36回	第35回	第38回 順位	第38回レ ー ティ ン グ	氏 名	第37回 順位	第37回レ ー ティ ン グ	第36回	第35回
51	1,019	福富敬雄	59	1,000	58	58	101	942	川上 徹	100	942	101	101
52	1,018	若林 拓	50	1,018	50	49	102	941	久木美智代	101	941	102	102
53	1,017	和泉フサ子	51	1,017	51	50	103	940	岡 祥介	102	940	103	103
54	1,014	門野文哉	80	977	94	142	103	940	井戸大志	102	940	103	103
55	1,011	勝間宥一郎	52	1,011	52	52	103	940	梶塚美代子	102	940	103	103
55	1,011	井戸美沙希	52	1,011	52	52	106	937	古川夏帆	106	937	87	94
57	1,009	梶塚美稀	55	1,009	54	54	106	937	長谷川智之	106	937	108	107
58	1,008	浜口浩一	52	1,011	76	64	108	934	熊川三興	108	934	109	108
59	1,007	田中利和	56	1,007	55	55	109	933	横田美代子	109	933	110	109
60	1,004	北村篤司	57	1,004	56	56	110	930	門野佑紀	110	930	111	110
61	1,002	河島浩二	58	1,002	57	57	111	927	浜口泰子	111	927	112	111
62	1,000	小出 努	59	1,000	58	58	112	924	浜口ふゆ	112	924	113	97
62	1,000	中川敏郎	59	1,000	58	58	113	921	辻本龍男	113	921	114	112
62	1,000	矢田嘉彦	59	1,000	58	58	114	920	湊 加津夫	114	920	115	113
65	999	教野正和	63	999	62	62	114	920	秦美代子	114	920	115	113
66	986	山本有理					116	919	馬淵有加里	116	919	117	115
67	984	森 豊	65	984	65	66	117	917	野口しのぶ	117	917	127	125
67	984	遠藤年生	65	984	65	66	118	915	川上 智	118	915	118	116
67	984	鏝田一治	65	984	65	66	119	913	井川良一	119	913	119	117
67	984	前田 修	65	984	65	66	119	913	馬淵紗也加	119	913	119	117
67	984	鬼沢一彦	65	984	65	66	121	910	古川貴朗	121	910	121	119
67	984	西澤清隆	65	984	65	66	122	908	浜口知奈	122	908	122	120
67	984	奥居雅彦	65	984	65	66	123	903	角田龍也	123	903	103	136
67	984	田中ふじえ	65	984	65	66	124	902	山本喜信	124	902	123	121
67	984	横山秀也	65	984	65	66	125	901	若林伸亨	125	901	124	122
67	984	深田 蕃	65	984	65	66	126	899	小川千歳	126	899	125	123
67	984	林 良治	65	984	65	66	127	898	門野 修	127	898	126	124
78	983	安田良介	76	983	64	51	128	896	井川雅子	128	896	128	126
79	981	上田旨宏	77	981	77	77	129	893	井川裕貴	129	893	129	127
80	980	河合大樹	78	980	78	78	130	891	篠田耕太	130	891	130	128
81	979	篠原重美	79	979	79	79	131	887	梅田 零	131	887	131	129
82	977	山口 篤	80	977	80	80	132	886	井川達貴	132	886	132	130
83	976	石川雅一	82	976	81	81	133	882	平井 治	133	882	133	131
84	975	堤 周徳	83	975	82	82	133	882	久木 武	133	882	133	131
84	975	松田充弘	83	975	82	82	135	876	馬淵加寿美	135	876	135	133
86	974	馬淵加奈恵	85	974	84	84	136	875	梅田拓未	136	875	136	134
87	970	北川敦久	86	970	85	85	137	861	新木泰子	137	861	137	136
87	970	高橋勝巳	86	970	85	85	138	857	太田英史	138	857	138	138
89	968	森 城斗	88	968	87	87	139	856	鈴木則成	139	856	139	135
89	968	森 海斗	88	968	87	87	140	855	松本伸次	140	855	140	139
91	966	高原淳志	90	966	90	89	141	853	三島和史	141	853	141	140
91	966	後藤治郎	90	966	90	89	142	850	林 三郎	142	850	142	141
93	959	井川ともみ	92	959	92	91	143	846	松原清美	143	846	143	143
93	959	井川さとみ	92	959	92	91	144	843	猪飼弘実	144	843	144	144
95	956	田沢 光子	94	956	95	93	145	821	柴田久美子	145	821	145	145
96	952	柳 圭二	95	952	96	94	145	821	大石よう子	145	821	145	145
97	951	平井芳治	96	951	97	96	147	812	山崎房子	147	812	147	147
98	946	西野幸子	97	946	98	98	148	794	清水健一	148	794	148	148
99	944	荒木正義	98	944	99	99	149	754	寺嶋宏展	149	754	149	149
99	944	久木 茂	98	944	99	99	150	745	若林武和	150	745	150	150
							151	731	木村浩一郎	151	731	151	151

(監修:事業部会)

都大路に続け！

カロム倶楽部37号では、逢坂山を越え、都の宵でカロムが楽しまっている様子を紹介したが、今回は東方より便りが届いた。これは、「天下分け目の関ヶ原」のさらに東、「鵜飼」で有名な岐阜・長良川の辺。カロム不毛の地で、悪戦苦闘、試行錯誤しながらも、クラブ設立を成し遂げた方々のドキュメントである。

～ぎふ長良川カロムクラブからの報告～



100年近くも前から彦根や長浜であれだけはやっていたカロムがやっと、昨年11月、ともかくもかなり無理やりでしたが、岐阜市の市民文化センターの一室で私たちの「ぎふ長良川カロムクラブ」は立ち上がりました。

当日は雨、そして駐車場も有料しかなく、市電は廃止されてしまい、それでも町の中心部の会場にはなんとか40名近くの方が集まってきてくださり、ついにカロムが「関ヶ原を越えた日」となりました。

もともとカロムを興ずる人がほとんどいない世界で「クラブ」を結成するという事は、順序としては逆であり、無謀とも言える試みであります。

最初に持ち込んだのは、岐阜市障害者支援センター。この女性職員の方が直感的にカロムの長所を理解くださって、センターに持ち込みのきっかけを作ってくださいました。このセンターにはもともと「あんさんぶる、絵手紙、パソコン」の同好会がありその活動のあと時間を割いて皆さんに競技してもらうことになったわけであります。「指一本で楽しめる」バリアーフリーのカロムは皆さんから好評を頂き、それが「老人クラブでも」とか「子ども会でも導入できる」という話が交わされ、その結果

「中学生の校外学習」……障害者センターでのボランティア活動、

「三世代交流」……小学校の文化祭

「公民館の文化祭の出展」……公民館のクラブ活動紹介(クラブ員募集)

「地域祭の賛助出展」……(岐阜市梅林児童センターの活動)

「障害者支援センター文化祭出展」……岐阜ハートフルスクエア会場で公開

などなど、つぎつぎにカロムを披露する機会が生まれました。

役員会を開き、11月26日の発会となり直ちに、パンフレットやビラの製作印刷開始。

さらにマスコミの力を借りようということになりNHKに申し込んだところ、連続スポットニュースを放送あり。

たちどころに反応があり、滋賀県出身の方からは「懐かしい、岐阜でもクラブができるのですか是非クラブ入会したい」と嬉しい電話。そのような経過を経てクラブは発足いたしました。

その後例会(第一回)を開いたとき、NHKのキャスターが会場を参観してくださって、自らも皆さんに混じって対戦。そのあと「カロム不毛の地岐阜」にそれを広めようとしている一人の年寄りのレポートを取材して放映したいということで、1月12日岐阜市の京町小学校で「カロム教室」の様子を取材にこられました。そのときの写真はネットをご覧ください。<http://www.inoue-s.net/>



もともと京町小学校は学校長が地域のかたがたと協力して子どもたちを育てていこうという「協育」の理念を唱えられており、カロムの社会的効用を説明したところ即座に「カロム教室を開いたらどうか」との積極的な提案があって、早速地域に生徒を通して「カロム教室」参加をよびかけてくださったものですから、当日は37名ほどの方と児童35名近くで会場はいっぱい。会場は競技が始まると歓声と笑い声が満ち、児童の何人かは「今度カロム教室はいつあるの？」と嬉しい質問。

そのあと拙宅でも取材があり、近所の夫婦の方とカロムの競技している様子、それに女性キャスターの出演でパックをはじく手のロゴマーク入りの盤を使って「カロムの紹介」のビデオ撮りがありました。女性キャスターの場面は何度も何度も丁寧に繰り返して、もうまるで映画の撮影現場のようでした。

昨日12日の取材したものは19日(水)放映される(後日名古屋NHK局からも)とのことですが、大変なご支援を頂くことになりました。名古屋は東海地方をカバーしていますから、一気にカロム(彦根カロム)は広がることと期待しております。

以上、経過のあらましを報告いたします。

福富敬雄 続いて、京町小学校のプログラム

京町小学校「カロム教室」プログラム

- 1 : 0 0 カロム盤を9台(3列×3列)
 ランチルームへ搬送
 ランチルームの広さ2教室分
 配膳机(9台)を配置
 机は小学校側が準備
 会場はランチルーム西側半分を使用
 壁面には当方が最初クラブ発会に使用した
 ポスターや、ネットで得た世界のCARROMの
 紹介プリントなど掲示作業
 ・・・・つまり会場づくり
- 1 : 3 0 追加カロム台搬入
- 1 : 5 0 PTA(20数名入室待機)
 掲示物を目通ししてもらう(期待)
 児童入室着席
 番号カード配布=任意の席に着席してもら
 い、適宜カロムを目の前にして手に触れても
 らう。自由に試技してもらう。



1回戦(セッション) おおよそ15分
 普通4回戦で1時間消費します。
 {3時ころには終了したいと思います}

- 3 : 0 0 児童退場
 地域の方への解説
 ぎふ長良川カロムクラブの紹介

(例会の案内)

- 3 : 1 5 会場後片付け、カロム盤の搬送など完了
 写真は、京町小学校のHPより転載させていただきました。



- 2 : 0 0 NHKの皆さんがおいでになった時点で学校
 側の係りの先生{私の記憶では佐橋先生}が
 司会紹介、=カロム教室開始{井上校長が最
 初私を紹介してくださるかもしれません}
 「カロム教室を設けてもらった理由説明」
 (福富:5分)
 競技方法説明 (3分)
- 2 : 1 5 1回目 合図とともに競技開始
 その時点の席でそのまま参加者が試技
 4人一台いわゆるダブルス (5分ほど)
 ・・・・Q&A
- 2 : 3 0 競技者組み合わせ発表と着席
 (事前に組み合わせを当方が準備)
 (4分ほど予定)
 2回目の競技者組み合わせ(ダブルス)
 (10分)
 勝敗状況、板書・公表の発表(挙手)
 (3分ほど予定)
- 2 : 4 5 席替え (3分)
 合図とともに3回目の競技開始 (10分)
 勝敗状況、板書・公表 (3分ほど予定)

総会・定例競技会のご案内

日時:2007年4月8日(日)

13:30~通常総会

(受付13:00~)

会場:文教スタヂオ5Fコンベンションホール

通常総会終了後、定例競技会

参加費:300円(ひとり)

(おつりの要らないように小銭をご準備願います)

会場には駐車場がございません。

公共交通機関をご利用いただくようお願い申し上げます。

文教スタヂオさんの駐車場には駐車しないで下さい。

通常総会案内は、別途送付させていただきます。

ぶれいくしよつと

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えになった
 ことと思います。さて本年は、20回の記念大会を迎えます。
 加えて滋賀県彦根市では、彦根城築城400年祭が、
 3月21日から11月25日まで催されます。その中でカ
 ロムも、地域のオンリーワンアイテムとして、商工会議所
 主催の博物館事業に採り上げられ、展示・体験の予定です。
 滋賀の両隣では、熱心なカロムファンのお力添えで、徐々
 に輪が広がり、この先の未来に、もっと素晴らしい楽しさ
 が待っていてくれるように感じますし、こっちは、お祭り
 をきっかけに、もっと多くの、もっと遠くの人たちに、生
 で伝えることが出来たらいいなと思っています。福富さん
 だけでなく、カロム談話室に登場して下さる『てなもん
 や』さんのカロム普及なんかも、ホントうれしい限りです。
 スタートダッシュして早ひと月過ぎましたが、皆さん今年
 もカロムのこと、“猪突猛進”で宜しくお願いしますね。